

衛 研 第 1 - 1 号
平成27年 4月 8日

感染症発生動向調査事業
各 関 係 機 関 の 長 様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担 当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電 話 0493-59-9325
F A X 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 27 年 第 14 週（平成 27 年 3 月 30 日～平成 27 年 4 月 5 日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症 4 人の届出があった。四類感染症は、レジオネラ症 1 人の届出があった。五類感染症は、侵襲性肺炎球菌感染症 3 人、梅毒 2 人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**伝染性紅斑**(0.92 0.88)の定点当たり報告数は前週と比べ微減に留まり、依然多い状況が続いている。保健所別では、春日部(1.25 2.17)保健所管内で大きく増加し、加須(2.00)、川越市(1.63)保健所管内からの報告が多い。**水痘**(0.60 0.85)の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、熊谷(0.56 2.78)、本庄(0.00 2.00)保健所管内で大きく増加し、幸手(1.22)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、5 歳が最も多い。**流行性耳下腺炎**(0.76 0.49)の定点当たり報告数は、前週より減少したが、前年の同時期よりやや多い。保健所別では、加須(2.67)保健所管内で多い状況が続いている。**インフルエンザ**(1.64 1.41)の定点当たり報告数は前週より減少したが、全保健所からの報告があり、今しばらくは注意が必要である。保健所別では、川口(2.44)、越谷市(2.00)、狭山(1.76)、草加(1.71)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**流行性角結膜炎** 27 人の報告があり、前週(18 人)より増加した。保健所別では、さいたま市(16 人)保健所管内からの報告が多い。基幹定点報告対象疾患では、**マイコプラズマ肺炎** 2 人、**感染性胃腸炎(ロタウイルス)** 11 人、**インフルエンザ(入院)** 1 人の報告があった。感染性胃腸炎(ロタウイルス)は基幹定点 4 カ所から 11 人の報告があり、前週(3 カ所から 7 人)より増加し、多い状況が続いている。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4人（病型 患者 1人、無症状病原体保有者 3人 血清型 0157 3人、不明 1人）
四類感染症	レジオネラ症	1人（病型 肺炎型）
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	3人
	梅毒	2人（病型 早期顕症 期 2人）

感染症情報センターからのお知らせ

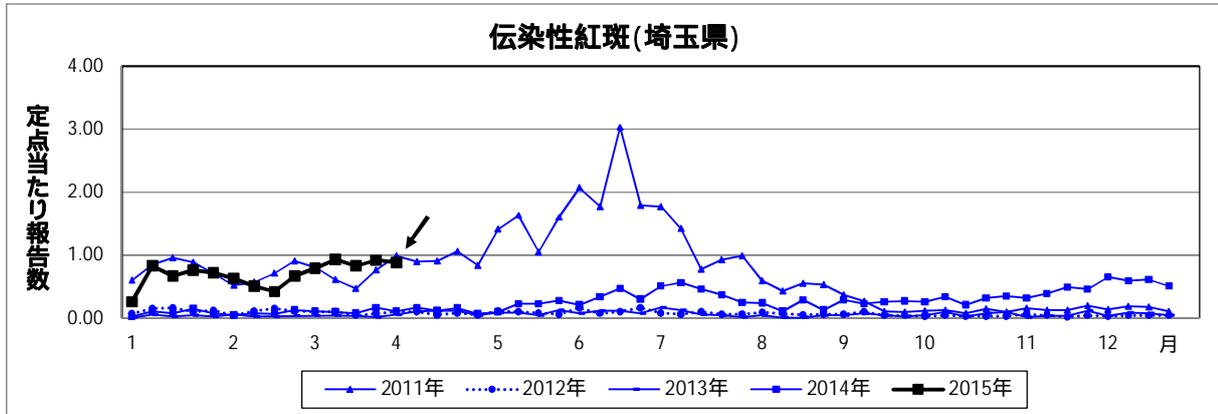
4月1日、越谷市保健所が開設され、今週から週単位情報の集計対象が16保健所となりました。

-
- 1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。
衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613
e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>
 - 2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ (URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。
-

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

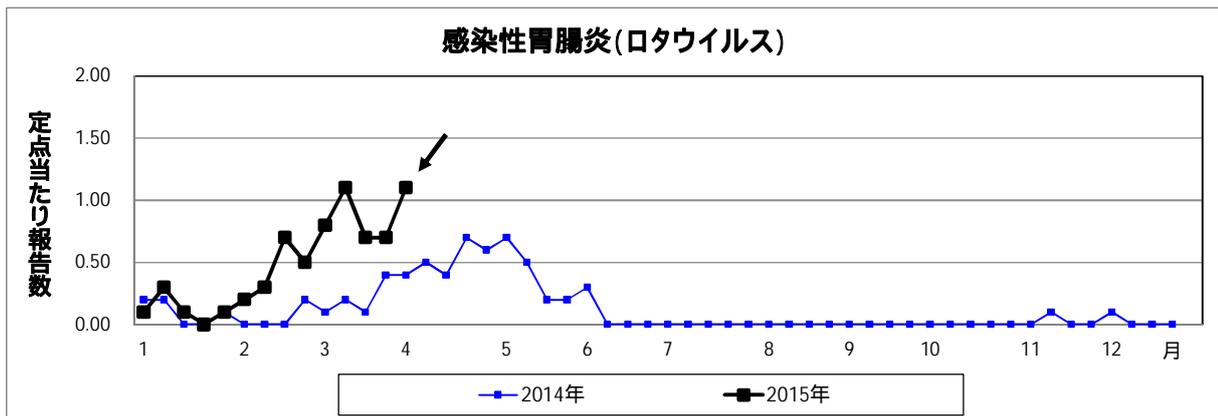
伝染性紅斑

県内 14 保健所から報告があった。保健所別では、春日部(2.17)、加須(2.00)、川越市(1.63)保健所管内からの報告が多い。



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

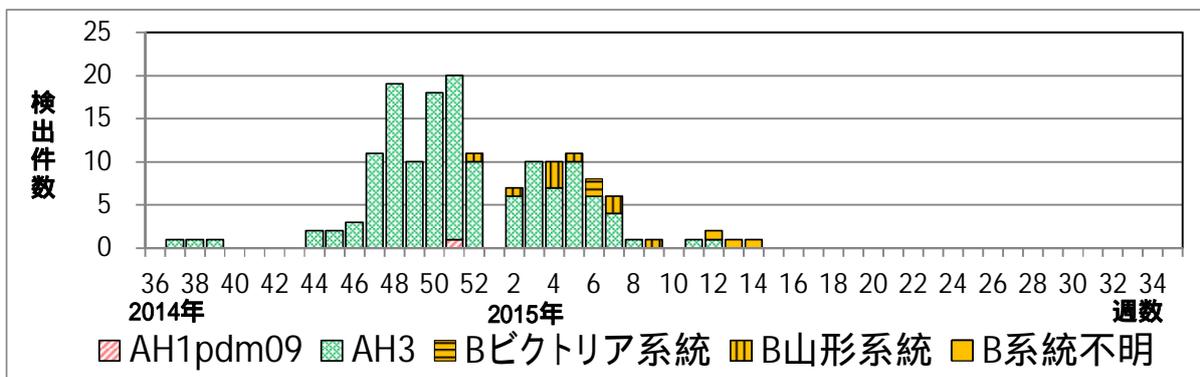
基幹定点 4 カ所から報告があり、保健所別では坂戸 6 人、狭山 2 人、越谷市 2 人、さいたま市 1 人の報告があった。



- インフルエンザウイルス検出状況 -

今週までに新たに検出されたウイルスは、川口(1人)、熊谷(1人)保健所管内で採取された2検体から、新たにB型2件が検出された。9月(第36週)以降の検出は、AH3(A香港)が143件と最も多く、AH1pdm09が1件、B型が14件の計158件である。

週別インフルエンザウイルス検出状況



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第14週)

(2015年 4月 7日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		2	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	4	13			
四類感染症					
E型肝炎		1	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
ウエストナイル熱			ニパウイルス感染症		
A型肝炎		5	日本紅斑熱		
エキノкокクス症			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
サル痘			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	1	14
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		2	ロッキー山紅斑熱		
東部ウマ脳炎					
五類感染症					
アメーバ赤痢		9	侵襲性肺炎球菌感染症	3	28
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		2	水痘*		1
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		5	先天性風しん症候群		
急性脳炎		12	梅毒	2	16
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	破傷風		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		6	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
ジアルジア症		1	風しん		2
侵襲性インフルエンザ菌感染症		5	麻しん		2
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		1
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	2			

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	感染症発生動向調査週情報										報告患者数										保健所別										平成27年3月30日～平成27年4月5日)											
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 # 3	クラミジア肺炎	感(口タウウイルス)	インフルエンザ	川	朝	鴻	東	秩	本	熊	加	春	幸	坂	草	狭	川	越	谷	さい	市	全		
報告数	352	19	35	276	1,104	133	15	137	98	1	3	76	1	27	-	-	-	2	-	11	1	1.41	0.12	0.22	1.77	7.08	0.85	0.10	0.88	0.63	0.01	0.02	0.49	0.03	0.68	-	-	0.20	-	-	1.10	0.10
定点当たり	61	4	5	36	131	7	-	18	11	-	-	0.56	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.44	0.25	0.31	2.25	8.19	0.44	-	1.13	0.69	-	-	0.56	-	-	-	-	-	-	-		
報告数	26	1	-	20	79	12	3	9	10	-	-	6	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1.30	0.09	-	1.82	7.18	1.09	0.27	0.82	0.91	-	-	0.55	-	-	-	-	-	-	-		
定点当たり	23	-	1	17	75	12	-	3	6	1	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1.21	-	0.08	1.42	6.25	1.00	-	0.25	0.50	0.08	-	0.17	0.33	0.33	-	-	-	-	-		
報告数	7	-	-	6	62	1	-	-	3	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.88	-	-	1.20	12.40	0.20	-	-	0.60	-	-	0.60	-	-	-	-	-	-			
定点当たり	1	-	-	1	7	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-	0.33	2.33	-	1.00	-	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-		
報告数	6	-	3	9	32	8	-	3	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	0.86	-	0.75	2.25	8.00	2.00	-	0.75	0.50	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-		
定点当たり	20	-	3	23	106	25	-	8	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.43	-	0.33	2.56	11.78	2.78	-	0.89	0.56	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
報告数	11	-	-	6	7	1	1	12	6	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.10	-	-	1.00	1.17	0.17	0.17	2.00	1.00	-	-	2.67	-	-	-	-	-	-	-		
定点当たり	7	-	-	3	14	4	-	13	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.70	-	-	0.50	2.33	0.67	-	2.17	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
報告数	13	2	8	7	38	11	3	4	2	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.93	0.22	0.89	0.78	4.22	1.22	0.33	0.44	0.22	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-		
定点当たり	9	1	1	5	38	2	-	1	4	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1.00	0.20	0.20	1.00	7.60	0.40	-	0.20	0.80	-	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-		
報告数	29	1	-	17	59	5	1	8	8	-	-	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1.71	0.09	-	1.55	5.36	0.45	0.09	0.73	0.73	-	-	0.36	-	-	-	-	-	-	-		
定点当たり	44	4	5	33	117	4	2	6	8	-	-	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1.76	0.25	0.31	2.06	7.31	0.25	0.13	0.38	0.50	-	-	0.38	-	-	-	-	-	-	-		
報告数	11	1	2	25	68	6	-	13	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.85	0.13	0.25	3.13	8.50	0.75	-	1.63	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
定点当たり	26	1	2	18	22	9	1	5	5	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	0.13	0.25	2.25	2.75	1.13	0.13	0.63	0.63	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-		
報告数	58	4	5	50	249	26	1	34	23	-	-	2	-	16	-	-	-	-	-	-	-	1.41	0.15	0.19	1.85	9.22	0.96	0.04	1.26	0.85	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-		
定点当たり	(- : 0.00)																																									

1 鳥インフルエンザを除く
2 真菌性を含む
3 オウム病を除く

4月 7日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第14週 平成27年3月30日～平成27年4月5日)

	合計																					
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～		
インフルエンザ #1	352	1	3	18	9	12	24	14	23	16	17	15	44	16	23	35	42	20	8	9	3	
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～		
RSウイルス感染症	19	5	6	4	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
咽頭結膜熱	35	-	3	5	8	6	4	3	3	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	276	-	1	4	16	37	32	33	38	29	25	20	30	2	9	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎	1,104	7	57	148	133	124	101	88	73	54	41	24	93	19	142	-	-	-	-	-	-	
水痘	133	-	3	6	6	14	18	30	11	21	11	3	8	1	1	-	-	-	-	-	-	
手足口病	15	-	1	5	1	1	3	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	137	-	1	7	10	14	15	26	19	19	9	7	8	1	1	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん	98	-	37	44	15	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	3	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	76	-	-	-	1	4	17	13	12	12	7	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～		
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	27	-	1	-	1	1	3	1	1	1	1	-	1	1	3	5	4	1	2	-	-	
合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～						
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	11	1	8	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(入院)インフルエンザ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	

表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 12 週

(3月16日～3月22日)

平成27年4月8日

インフルエンザの定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は高知県(11.29)、大分県(7.78)、沖縄県(7.22)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は203例と前週と比較して減少した。都道府県別では43都道府県から報告があり、年齢別では0歳(8例)、1～9歳(33例)、10代(7例)、20代(4例)、30代(2例)、40代(3例)、50代(10例)、60代(18例)、70代(30例)、80歳以上(88例)であった。

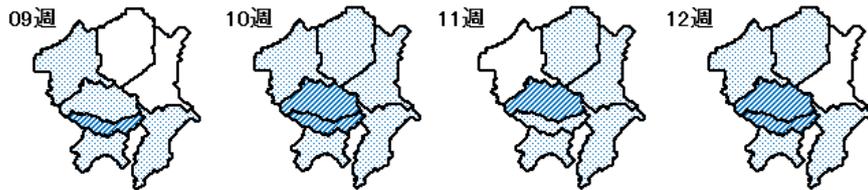
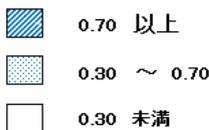
RSウイルス感染症の報告数は1,043例と第5週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(1.03)、宮崎県(0.86)、山形県(0.83)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は石川県(7.07)、鳥取県(6.47)、山形県(6.13)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(18.42)、福岡県(12.97)、佐賀県(12.00)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は石川県(1.14)、山形県(1.03)、沖縄県(0.94)である。手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.94)、島根県(1.83)、福井県(1.14)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第9週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は石川県(1.10)、東京都(0.86)、埼玉県(0.83)である。百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は広島県(0.06)、宮崎県(0.06)、沖縄県(0.06)、福井県(0.05)、鳥取県(0.05)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は富山県(1.60)、石川県(1.60)、宮城県(1.17)、佐賀県(0.67)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。43都道府県から236例報告があり、年齢別では0歳(32例)、1～4歳(163例)、5～9歳(30例)、10代(2例)、20代(3例)、30代(3例)、60代(1例)、70歳以上(2例)であった。

<関東情報>

伝染性紅斑の定点当たり報告数は、東京都(0.86)、埼玉県(0.83)からの報告が多い。

伝染性紅斑



平成27年 12週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 18,972 定点当たり 3.85	4,277 2.88	254 2.12	200 2.63	346 3.53	778 3.18	1,023 4.89	983 2.39	693 2.11
RSウイルス感染症	報告数 1,043 定点当たり 0.33	148 0.16	6 0.08	9 0.19	6 0.10	32 0.21	19 0.14	46 0.18	30 0.15
咽頭結膜熱	報告数 1,072 定点当たり 0.34	301 0.32	31 0.41	6 0.13	32 0.53	50 0.32	81 0.61	52 0.20	49 0.24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 9,228 定点当たり 2.94	2,819 3.01	259 3.45	86 1.79	208 3.47	502 3.24	392 2.97	817 3.13	555 2.72
感染性胃腸炎	報告数 22,945 定点当たり 7.30	6,678 7.14	468 6.24	165 3.44	396 6.60	1,302 8.40	752 5.70	2,119 8.12	1,476 7.24
水痘	報告数 1,523 定点当たり 0.48	493 0.53	19 0.25	24 0.50	19 0.32	97 0.63	50 0.38	151 0.58	133 0.65
手足口病	報告数 1,308 定点当たり 0.42	142 0.15	22 0.29	16 0.33	43 0.72	22 0.14	6 0.05	27 0.10	6 0.03
伝染性紅斑	報告数 1,285 定点当たり 0.41	635 0.68	20 0.27	18 0.38	27 0.45	128 0.83	83 0.63	225 0.86	134 0.66
突発性発しん	報告数 1,388 定点当たり 0.44	462 0.49	17 0.23	28 0.58	35 0.58	74 0.48	61 0.46	140 0.54	107 0.52
百日咳	報告数 30 定点当たり 0.01	9 0.01	-	1 0.02	1 0.02	2 0.01	1 0.01	2 0.01	2 0.01
ヘルパンギーナ	報告数 106 定点当たり 0.03	12 0.01	3 0.04	-	4 0.07	1 0.01	1 0.01	2 0.01	1 0.00
流行性耳下腺炎	報告数 946 定点当たり 0.30	231 0.25	13 0.17	2 0.04	9 0.15	76 0.49	52 0.39	57 0.22	22 0.11
急性出血性結膜炎	報告数 11 定点当たり 0.02	3 0.01	-	-	-	1 0.02	-	-	2 0.04
流行性角結膜炎	報告数 226 定点当たり 0.33	84 0.41	9 0.53	4 0.33	17 1.21	7 0.17	11 0.33	11 0.29	25 0.53
細菌性髄膜炎 #2	報告数 14 定点当たり 0.03	4 0.05	-	-	2 0.25	-	-	2 0.08	-
無菌性髄膜炎	報告数 15 定点当たり 0.03	4 0.05	-	-	1 0.13	1 0.10	1 0.11	1 0.04	-
マイコプラズマ肺炎	報告数 110 定点当たり 0.23	14 0.17	2 0.15	-	2 0.25	3 0.30	-	5 0.20	2 0.20
クラミジア肺炎 #3	報告数 8 定点当たり 0.02	4 0.05	-	-	-	-	1 0.11	3 0.12	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 236 定点当たり 0.50	37 0.45	4 0.31	4 0.57	8 1.00	7 0.70	1 0.11	3 0.12	10 1.00

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

この情報は感染症法に基づく、感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所及びさいたま市健康科学研究センターの持つ病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

インフルエンザの検体は減少し、3月は6検体から2株のインフルエンザウイルス（AH3型、B型1件ずつ）が検出されました。感染性胃腸炎の検体は2事例の集団発生から採取され、6検体からノロウイルスが検出されました。

ウイルス分離状況

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体数合計			
		1月	2月	3月	累計
	検体数		3	1	4
E型肝炎	B型肝炎				
	検査中				
A型肝炎	A型肝炎		1	1	2
	検査中		1		1
重症急性呼吸器症候群	検体数				
	SFTS				
	検査中				
デング熱	検体数		2		2
	デングウイルス		2		2
	検査中				

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体数合計			
		1月	2月	3月	累計
	検体数	109	87	84	280
咽頭結膜熱	アデノ				
	検査中				
インフルエンザ	検体数	39	16	6	61
	インフルエンザAH3	31	10	1	42
	" B	5	5	1	11
	" AH1pdm09				
	アデノ3	1			1
	ライノ		1		1
感染性胃腸炎	検査中			4	4
	検体数	4	8	11	23
	ノロ	1	4	6	11
	サボ		1		1
	アストロ				
	ロタ(A)		1		1
	アデノ1		1		1
	コクサッキー A10	1			1
	サイトメガロ	1			1
	検査中			4	4
ヘルパンギーナ	検体数			1	1
	コクサッキー A2				
	" A6				
	" A8				
	" A10				
検査中			1	1	
手足口病	検体数				
	コクサッキー A6				
	" A16				
検査中					
脳炎・脳症（四類以外）	検体数	8	4	15	27
	ヒトヘルペス 6	1			1
	ライノ			3	3
	RS	1			1
	単純ヘルペス 1	1			1
検査中		1	9	10	

五類感染症つづき

臨床診断名	検体数	検出月 検体数合計				
		1月	2月	3月	累計	
麻疹	麻疹		6	3	4	13
	ヒトパルボB19		3			3
	ヒトヘルペス 7		1			1
	アデノ 31			1		1
検査中				4	4	
風しん	検体数		1		1	
	風しん					
	EB		1		1	
検査中						
先天性風しん症候群	検体数					
	風しん					
検査中						
無菌性髄膜炎	検体数			4	4	
	検査中			4	4	
流行性角結膜炎	検体数					
	アデノ					
検査中						
流行性耳下腺炎	検体数		1		1	
	ムンプス					
検査中						
その他	検体数		50	56	43	149
	コクサッキー A9		2			2
	パレコ		1			1
	アデノ 1		1			1
	アデノ 2		3			3
	ヒトヘルペス 6		3	5		8
	ヒトヘルペス 7		3	4	2	9
	インフルエンザAH3		2	1		3
	RS		6	3	1	10
	ヒトメタニューモ		1	3	3	7
	ライノ		5	10	2	17
	サイトメガロ		2	3		5
	ヒトコロナ			2		2
	ノロ		1			1
検査中				29	29	

細菌分離状況

病原体名	分離月	検出月 検体数合計			備考（3月分）
		1月	2月	3月	
三類	赤痢菌			2	S. sonnei:2(ハ'ン'ガ'ラ'シ)
	チフス菌			1	S. Typhi:1(カ'ン'ダ')
	パラチフスA菌		1		
	腸管出血性大腸菌O157	3	1		
	腸管出血性大腸菌O26	1	1	2	H11(VT1):2
腸管出血性大腸菌その他	1				
四類	レジオネラ菌	1	2		
五類	肺炎球菌			1	侵襲性肺炎球菌感染症:1
	VRE	2			
	MRSA		1		
	溶血性レンサ球菌	1	1	1	S. pyogenes(T-12):1
	その他	1	1	1	C. jejuni:1(感染性胃腸炎)

今冬のインフルエンザ

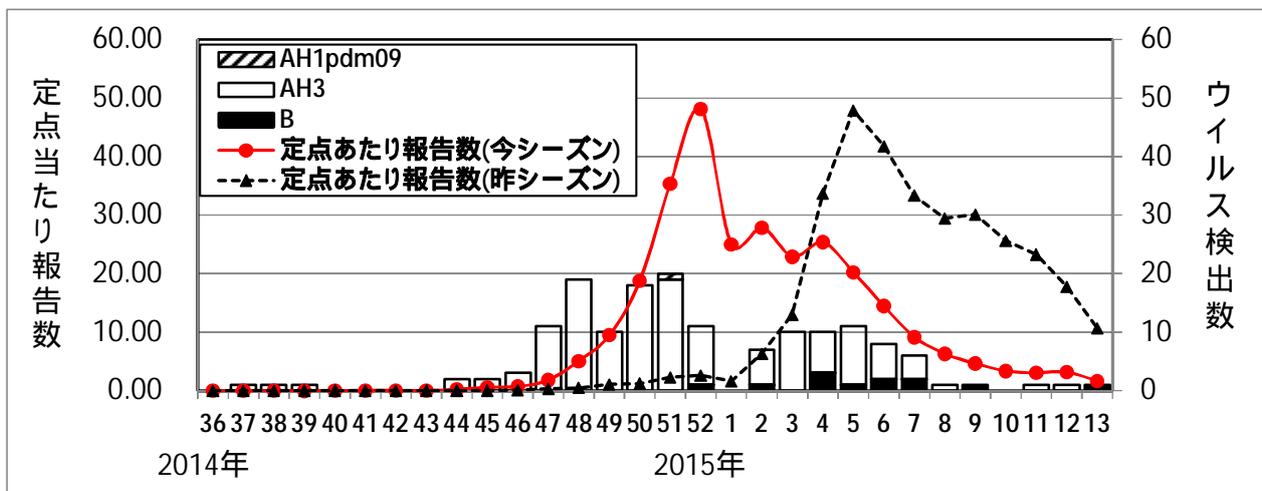
(1) 定点当たり報告数の推移

今シーズンのインフルエンザは、昨シーズンより 1 か月ほど早く本格的な流行を迎えました。定点当たり報告患者数は 2014 年第 49 週から急上昇し、第 52 週に 48.13 に達してピークとなりました(下図参照)。2015 年第 1 週以降は報告数が減少し、第 7 週には 9.16 となり、今シーズンの流行は終息に向かいつつある状況です。

(2) ウイルス検出状況

2014 年第 36 週から 2015 年第 13 週までに、埼玉県衛生研究所及びさいたま市健康科学研究センターで検出されたウイルスは、AH1pdm09 が 1 件、A 香港(AH3)型が 143 件、B 型が 12 件です。今シーズンの流行の主体は AH3 型であり(下図)、B 型は 2015 年に入ってから散発的に検出されていますが、昨シーズンより少ない検出数です。AH1pdm は昨シーズン最も多く検出されましたが、今シーズンの検出数は非常に少なく、これは全国的にも同様の傾向です。

インフルエンザウイルス検出状況及び定点当たり報告数(埼玉県)



(3) 抗インフルエンザ薬耐性ウイルスについて

国立感染症研究所において、2015 年 3 月 27 日までに全国で分離されたウイルスのうち、AH1pdm09 の 18 株、AH3 の 212 株、及び B 型の 44 株について、抗インフルエンザ薬(オセルタミビル、ペラミビル、ザナミビル、及びラニナミビル)に対する耐性の有無を調べたところ、耐性を示すウイルスは検出されませんでした。

病原体定点の先生方には、引き続き検体採取の御協力をよろしくお願いいたします。
 インフルエンザに関する最新の全国情報は、国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>)でご覧になれます。



総合トップ

くらし・環境

健康・福祉

しごと・産業

文化・教育

県政情報・統計

総合トップ > 県政情報・統計 > 県概要 > 組織案内 > 保健医療部 > 保健医療部の地域機関 > 衛生研究所 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2015年 > 感染症の流行状況 2015年 第14週

感染症発生動向調査 2015年

- [感染症の流行状況 2015年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第13週](#)

感染症の流行状況 2015年 第14週

2015年第14週（平成27年3月30日～4月5日）の要点 平成27年4月8日

伝染性紅斑の定点当たり報告数は、前年に比べて多い状況が続いています。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ			伝染性紅斑		
RSウイルス感染症			突発性発しん		
咽頭結膜熱			百日咳		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			ヘルパンギーナ		
感染性胃腸炎			流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		
水痘(みずぼうそう)			急性出血性結膜炎		
手足口病			流行性角結膜炎		

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。 *2.推移は2週間前からの傾向を示します。(:増減無し、 :増加、 :減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい、 、 大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)



埼玉県のマスコット コバトン